

調査の名称	水銀大気排出実態調査
調査の目的	新たな水銀大気排出規制制度構築のために必要な基礎資料を得るため、施設区分ごとの水銀の排出状況を把握することを目的とする。
調査の対象	石炭火力発電所、産業用石炭燃焼ボイラー、非鉄金属（鉛、亜鉛、銅及び金）製造に用いられる製錬及びばい焼の工程、セメントクリンカーの製造設備、廃棄物焼却炉
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 調査対象施設の概要 (2) 原燃料中の水銀含有量 (3) 排ガス中の水銀濃度
調査の時期	1回限り（平成27年5月～12月に実施）
調査の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・メールで調査票を送付し、メールで回収した。 ・水銀測定結果等については、排ガス中の水銀濃度（ガス状水銀及び粒子状水銀）並びに原燃料等及び排出物中の水銀含有量を測定対象とし、統一の測定方法（「環境省法」）で調査を実施した。